

令和2年度 上田南幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

より良い園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されました。これは国からの評価項目の指標に基づき園で取りまとめた自己評価です。

1. 園の教育目標

「体を動かすことで人間は育つ」を基本に据え、外遊びを豊富に行う活動「歩育」・「運動遊び」を通じ、心身共に逞しい子を育てる。

2. 本年度の重点目標

- ①挨拶は、コミュニケーション最初の入り口。自ら進んで挨拶ができるよう取り組んでいます（挨拶週間）
- ②体を楽しく動かしていくことで、脳への刺激も加わります。「歩育」・「運動遊び」を重点として実施し心身の成長を促します
- ③音楽、英語、体育の専門の知識を持った職員と保育者が密に連携し、保育活動をすることで、子どもたちの学習に対する意欲の向上を図ります

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 園長より本年度の取り組みについて

- ・「歩育」と「運動遊び」については、コロナ禍の中、思うような活動が出来ず、園内、特に園庭やグラウンドのみの活動になってしまい、活動として不足であった。来年度の状況にもよるが、充実させていきたい。
- ・朝の自由遊びの時間を延長していることで、子どもたちの遊びが充実していると感じる
- ・園外保育が今年度は縮小したので、子どもたちの満足感が少なかった
- ・デジタル化の取り組みで、お便りや動画のをメールで配信するようになり、保護者にとって、見やすい工夫が必要と感じた